

——空間音響信号処理と実用化小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

空間音響信号処理と実用化小特集編集委員会

計算機の爆発的な進歩に伴い、音声・音響信号処理技術に基づく様々なアプリケーションが実時間にて実装できる時代となりました。特にこれまで実時間処理が困難であった三次元音空間に対する音場制御技術や騒音制御技術に関する研究に高い注目が集まるだけでなく、PAL (Parametric Array Loudspeaker) 等の新しい出力デバイスの提案に伴い、音声・音響信号処理技術が新しい時代への過渡期を迎えつつあります。

そこで今回は、新しい時代の入り口に立つ空間 (三次元) 音響信号処理に関する論文を集めた小特集 (2014 年 9 月号掲載) を企画致します。最先端信号処理技術に関連した質の高い論文を下記の要領で小特集として出版することにより、今後の当分野への発展と電子情報通信学会基礎・境界サイエティの当分野への貢献を図ります。募集対象論文の対象分野は以下のとおりです。

1. 対象分野

- 三次元音場再現
- 能動騒音制御
- スピーカアレー信号処理
- 音像定位
- パラメトリックスピーカのための信号処理
- \* 投稿された論文の内容が本小特集の対象分野に該当しないと編集委員会が判断した場合、査読を行わずに返戻と判定する場合があります。

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内程度とします。執筆要項の詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_ess.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html)) を御参照下さい。
- ・論文原稿は下記の学会投稿システムから御投稿下さい。初稿投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。  
[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx)  
[Special-GN] Spatial Acoustic Signal Processing and Applications を選択して下さい。
- ・Copyright Transfer Form 及び Confirmation Sheet を幹事まで電子メール、FAX、郵便等でお送り下さい。

3. 論文投稿締切日 2013 年 11 月 25 日 (月) 必着

Copyright Transfer Form 提出締切日 2013 年 11 月 25 日 (月) 必着

4. Copyright Transfer Form 送付先及び問合せ先

西浦敬信 立命館大学情報理工学部  
〒525-8577 草津市野路東 1-1-1  
TEL&FAX[077]561-5075, E-mail: nishiura@is.ritsumeiji.ac.jp

5. 小特集編集委員会構成

委員長 梶川嘉延 (関西大)  
幹事 西浦敬信 (立命館大)  
委員 Alberto CARINI (Univ. of Urbino, Italy), 菅木禎史 (熊本大), Woon-Seng Gan (Nanyang Technological Univ., Singapore), 生田 顕 (県立広島大), 川村

新 (阪大), 木村敏幸 (NICT), Maciej Niedzwiecki (Gdansk Univ. of Technology, Poland), 西野隆典 (三重大), 笹岡直人 (鳥取大)

6. 付記

- \* 論文採録の場合は掲載別刷代 (別刷 50 部を含む) が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な資格を満たしていない著者からの投稿論文は、受け付けることができませんので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

——将来ネットワークに向けた

インターネットアーキテクチャ特集

(和文論文誌 B) 論文募集——

将来ネットワークに向けたインターネットアーキテクチャ特集編集委員会

インターネットは現代社会における様々な活動を支える重要な基盤としてなくてはならない存在となり、従来の通信網では実現困難な可用性や新規サービスの迅速な提供に大いに貢献しています。一方で、現在のインターネットで顕在化した課題であるセキュリティの向上やコンテンツ配信の効率化を目的として、CCN (Contents Centric Network), ICN (Information Centric Network) に代表される将来ネットワーク (Future Internet) の研究が近年活発に行われています。これらの研究は現在のインターネットアーキテクチャ自体に変革をもたらす可能性があり、移行可能性も含め、更なる議論が必要になってきています。このような状況を踏まえ、本特集 (平成 26 年 10 月号) では、インターネットの基本設計や設計思想につながる基盤技術、運用技術、更には新しい技術の展開に関する論文に加えて、新しいアプリケーションやネットワークを活用した社会システムなど、将来インターネットに向けたインターネットアーキテクチャに関する論文 (一般、システム開発論文、及びレター) を募集します。皆様の積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・将来インターネット
- ・ディペンダビリティ技術
- ・ネットワークアーキテクチャ技術
- ・システム仮想化技術
- ・セキュリティ技術
- ・ホームネットワーク
- ・アプリケーション技術
- ・センサネットワーク
- ・実装・応用技術
- ・モバイルデバイス活用技術
- ・ミドルウェア技術
- ・コミュニケーション技術
- ・プロトコル技術
- ・情報・コンテンツの拡散・流通技術
- ・ルーティング技術
- ・遅延・分断耐性ネットワーク (DTN)
- ・トラヒック制御技術
- ・省電力ネットワーク技術
- ・サステイナビリティ技術

- ・ネットワークを活用した省電力化技術
- ・医療・ヘルスケア応用
- ・Internet of Things
- ・ITS 応用
- ・システムの迅速な導入・展開に関する技術
- ・計測・管理・運用技術
- ・シームレスなシステム移行技術
- ・サイバーフィジカルシステム
- ・クラウドサービス

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷上り 8 ページ以内とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\_mokuji.html

査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 主なスケジュール

投稿締切：平成 26 年 1 月 31 日（金）厳守  
 初回判定通知：平成 26 年 3 月中旬を予定  
 最終判定通知：平成 26 年 6 月中旬を予定  
 発行月：平成 26 年 10 月号

## 4. 問合せ先

山井成良（岡山大学情報統括センター）  
 〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1  
 TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244  
 E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp

## 5. 投稿方法

### (A) 郵送

https://review.ieice.org/regist\_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

### (B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist\_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

**【注意】** 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正／削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

### 【送付先】

電子情報通信学会編集出版部論文課  
 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
 FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-b@ieice.org  
 郵送時、封筒に「インターネットアーキテクチャ」特集と朱記して下さい。

## 6. 特集編集委員会

編集委員長 石橋圭介（NTT）  
 編集幹事 山井成良（岡山大）、長谷川洋平（NEC）  
 編集委員 新 善文（アラクサラネットワークス）、下川俊彦（九州産大）、高井昌彰（北大）、福田健介（NII）、藤川賢治（NICT）、前田香織（広島市大）、宮地利幸（NICT）、山本成一（東大）、義久智樹（阪大）

# ——クラウド・サービスコンピューティング小特集 （英文論文誌 D）論文募集——

クラウド・サービスコンピューティング小特集  
 編集委員会

クラウドコンピューティングの発展により、計算資源がインターネット上に集約され大規模化しつつあります。また、このようなスケールアウトを可能とする計算環境を前提に、多くのソフトウェアや大規模データがインターネット上に集積され、スマートフォンなどのモバイル端末を介して、社会の至る所で必要なときに必要な分だけサービスとして利用されています。このようにハードウェアやソフトウェアの所有から利用へとシフトしているクラウド時代では、組織の枠を越えて、ネットワークから計算資源、データ、その上で動作するアプリケーション、そして、ビジネスプロセスまで統合したサービスの構築手法が求められています。こうした期待に応えるには、ネットワークサービスや IaaS, PaaS, SaaS といったレイヤごとの構築、運用技術だけでなく、レイヤ内の水平型のサービス連携から、レイヤを横断した垂直型のサービス連携まで幅広いサービス構築技術が重要となります。

このような幅広いレイヤを横断的に議論する必要性から、サービスコンピューティング研究専門委員会では、これらの研究分野を集めた最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として、英文論文誌 D（平成 26 年 7 月号）にて小特集を企画致します。本小特集では、クラウドコンピューティングを用いたサービス構築のための基礎技術、及びそれらの応用技術までの幅広い分野からの論文を募集します。幅広い分野からの多数の方々からの積極的な御投稿を期待致します。

## 1. 対象分野

### ◎クラウドコンピューティング

- ・クラウド（SaaS, PaaS, IaaS）の運用
- ・クラウドのパフォーマンス
- ・インタクラウド

### ◎サービスコンピューティング

- ・SOA
- ・Web サービス
- ・サービス連携
- ・サービス発見
- ・サービス選択
- ・サービス配備・運用・管理
- ・サービスのセキュリティ・プライバシー

### ◎ビジネスプロセス

- ・BPM
- ・ビジネスプロセスの検証・最適化
- ・サービスエコノミクス

### ◎クラウド・サービスの応用

- ・クラウドソーシング
- ・Web API・マッシュアップ
- ・Linked Data サービス
- ・Semantic Web サービス
- ・モバイルサービス
- ・ストリームサービス
- ・クラウドに基づく応用システム（教育、科学、省エネ、ヘルスケアなど）

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論

——多値論理と VLSI コンピューティング小特集  
（英文論文誌 D）論文募集——

多値論理と VLSI コンピューティング小特集  
編集委員会

文の場合は刷り上がり 8 ページ以内、レターは刷り上がり 2 ページ以内とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日間）が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-UD] Cloud and Services Computing を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

#### 送付先及び問合せ先

〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台 3-5  
独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所情報分析研究室 田仲正弘  
FAX [0774] 98-6967, E-mail: mtnk@nict.go.jp  
※郵送時は、封筒に「クラウド・サービスコンピューティング特集」を朱記して下さい。

#### 4. 投稿締切 平成 25 年 10 月 21 日 (月) 厳守

#### 5. 小特集編集委員会

委員長 村上陽平 (京大)  
幹事 石川冬樹 (NII), 田仲正弘 (NICT), 高間康史 (首都大東京)  
委員 井垣 宏 (阪大), 川村隆浩 (東芝), 鈴木豊太郎 (東工大), 須永 宏 (阪工大), 立堀道昭 (IBM), 中村匡秀 (神戸大), Incheon Paik (会津大), 細野 繁 (NEC)

#### 6. 付記

- \* 締切日を厳守して下さい。
- \* 招待論文を含む全ての採録論文について掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- \* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

システムオンチップ (SoC) やシステム LSI の高機能化、小形化、低消費電力化は、主に設計・製造技術の向上に伴うシステムの極限的微小化・集積化によって実現されてきましたが、微小化のみでは解決が困難な種々の深刻な問題が生じています。この問題に対し、従来の 2 値に代わる多値デジタルコンピューティングをはじめとした、従来技術の延長とは異なる新しい概念に基づく VLSI コンピューティングの開拓が望まれております。また、多値論理を利用した論理設計や多値論理代数とその応用、ソフトコンピューティングなど、2 値論理の枠組みを超える新しいコンピューティング手法も期待されております。このような背景の下に、「多値論理と VLSI コンピューティング」小特集 (平成 26 年 9 月号) を企画しました。特に、43rd IEEE International Symposium on Multiple-Valued Logic (ISMVL2013) にて発表された講演論文も含めて、新概念に基づく多値論理と VLSI コンピューティングに関する論文を広く募集します。

#### 1. 対象分野

多値論理代数、ファジー論理、ソフトコンピューティング、量子コンピューティング、論理設計とスイッチング理論、テスト・検証、スペクトラムロジック、新概念 VLSI アーキテクチャ、多値 VLSI コンピューティング、ナノデバイススペースアーキテクチャなど。

#### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

#### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-LO] Multiple-Valued Logic and VLSI Computing を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

#### 4. 論文投稿締切日 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着

#### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

弓仲康史 群馬大学理工学研究院電子情報部門  
〒376-8515 桐生市天神町 1-5-1  
TEL [0277] 30-1790, FAX [0277] 30-1707  
E-mail: yuminaka@el.gunma-u.ac.jp



## 6. 小特集編集委員会

委員長 和保孝夫 (上智大)

幹事 弓仲康史 (群馬大), 水木敬明 (東北大)

委員 井口幸洋 (明大), 上浦尚武 (兵庫県立大), 夏井雅典 (東北大), 本間尚文 (東北大), 河口万由香 (北大), 笹尾勤 (明大), 淡野公一 (宮崎大), 永山 忍 (広島市大)

## 7. 付記

\* 締切日を厳守して下さい。

\* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——Internet of Things のフロンティア小特集

(英文論文誌 D) 論文募集——

Internet of Things のフロンティア小特集編集委員会

Internet of Things (IoT) の研究開発に関連する問題に焦点を合わせ、最新の研究進展を示すことを目的として、情報・システムサイエティ英文論文誌に小特集「Internet of Things のフロンティア」(平成 26 年 10 月)を企画致しました。

### 1. 対象分野

IoT のための、

- (1) システム及びネットワークアーキテクチャ
- (2) 異種統合及び相乗的技術
- (3) プロトコルの最適化及び設計
- (4) ユビキタスポジショニング技術
- (5) RFID, センサ, アクチュエータ, マシンビジョンに関する技術
- (6) 組込み技術
- (7) ネーミング及びアドレス管理
- (8) センシング及びセンサネットワーク技術
- (9) アクセスネットワーク技術
- (10) IoT ネットワークの運用, 管理, 及び最適化
- (11) データ管理, データ処理, 及びデータマイニング
- (12) セキュリティ及びプライバシー保護
- (13) デイベンダビリティ
- (14) IoT システムの性能管理及び評価
- (15) 環境発電及び省エネルギー
- (16) インタフェース及びインタラクション技術
- (17) Web 技術及びクラウドコンピューティング
- (18) IoT アプリケーション及びテストベッド
- (19) IoT 標準化活動

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ, レター 2 ページ以内とします。Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html))を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: [https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx) から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-TH] Frontiers of Internet of Things を選択して下さい。[Regular-ED] は選択しないで下さい。

手順 2: “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” 文書と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” 文書を、論文投稿締切日である平成 25 年 12 月 15 日 (日) (必着) で下記送付先に郵送、または下記アドレスまで FAX または E-mail で送付して下さい。なお、郵送の場合、封筒には「Internet of Things のフロンティア小特集」と朱書きして下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 12 月 15 日 (日) 必着

### 5. Copyright Transfer/Confirmation Sheet 送付先, 問合せ先

太田 香 室蘭工業大学情報電子工学系学科

〒050-8585 室蘭市水元町 27-1

TEL & FAX [0143] 46-5409

E-mail: [ota@csse.muroran-it.ac.jp](mailto:ota@csse.muroran-it.ac.jp)

### 6. 小特集編集委員会

編集委員長 Laurence T. Yang (St. Francis Xavier University, Canada)

編集幹事 太田 香 (室蘭工大), 王 国军 (中南大, 中国), 福島和英 (KDDI 研)

委員 櫻井幸一 (九大), 高橋健一 (鳥取大), Bernady O. Apduhan (九州産大), Zixue Cheng (会津大), 土肥 正 (広島大), Ying Dai (岩手県立大), Minyi Guo (上海交通大, 中国), Runhe Huang (法政大), Qun Jin (早大), Jie Li (筑波大), Ruidong Li (NICT), Zhen Liu (長崎総合科学大), 仲野有登 (KDDI 研), Bagus Santoso (I2R, シンガポール), Chunhua Su (北陸先端大), Ilun You (Korean Bible University, 韓国), 双紙正和 (広島市大), 山本 寛 (長岡技科大), 山口利宏 (岡山大), Neil Y. Yen (会津大), Gang Zeng (名大), Xia Xie (華中科技大, 中国)

### 7. 付記

\* 論文採録の場合は、招待論文も含め掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。50 部の別刷が配布されます。

\* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——画像符号化・映像メディア処理特集

(和文論文誌 D) 投稿募集——

画像符号化・映像メディア処理特集編集委員会

和文論文誌 D では、画像符号化・映像メディア処理に関するレター特集を平成 19 年 7 月号から毎年企画してきました。次年度はレターに限定せずに、論文も募集する「画像符号化・映像メディア処理特集」を平成 26 年 9 月号に企画致しました。

画像符号化の分野では、新しい映像符号化方式 HEVC (High

Efficiency Video Coding) が標準化され、拡張規格についても作業が進められており活発な研究が行われています。スマートホンやクラウド技術を利用した映像メディア処理は極めて身近な存在となり、様々なアイデアを盛り込んだソフトウェアやサービスが実用化されています。自由視点映像、ライフログ、インターネットの動画共有サイト、物体識別・追跡などの研究もますます発展し、HDTV を超える超高精細映像、超解像技術、3D テレビなど次々と実用化されています。このような背景から、この特集では画像符号化・映像メディア処理に関連する広い分野の論文及びレターを募集致します。PCSJ2013/IMPS2013 で発表された研究のみならず、画像符号化及び映像メディア処理に関連する研究について着想段階の研究アイデアも含めて多くの方々からの積極的な御投稿をお願い申し上げます。

## 1. 対象分野

### ■画像符号化分野

符号化基礎、符号化画質評価、静止画像符号化、動画画像符号化、標準方式関連技術、動きベクトル検出、動き補償、可変長/エントロピー符号化、領域分割/特徴抽出、オブジェクトベース/モデルベース符号化、ステレオ/多眼/三次元/自由視点映像の符号化、インターネットビデオ、ワイヤレスビデオ、符号化関連ハードウェア/ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

### ■映像メディア処理分野

映像処理基礎、自由視点映像、三次元画像技術、高精細画像技術、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成/CG/制作、画像の処理/認識、擬人化エージェント、HCI のための画像/処理/認識、映像処理 VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成/復元、動画画像処理、色彩処理、ITS、電子透かし、ライフログ、生活支援、その他

## 2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一です。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とし、12 ページ以上の論文でページ数超過の理由書が提出されない場合や、5 ページ以上のレターの場合は投稿を受け付けませんので御注意下さい。詳細につきましては、「和文論文誌投稿のしおり」[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html) を御参照下さい。

特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 論文投稿締切日 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 厳守

## 4. 投稿方法

### (1) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

### (2) 郵送

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

## 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内  
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-dl@ieice.org

## 5. 問合せ先

市ヶ谷敦郎 NHK 放送技術研究所  
TEL [03] 5494-3354, FAX [03] 5494-3197  
E-mail : ie-letter@mail.ieice.org

## 6. 特集編集委員会

委員長 八島由幸 (千葉工大)  
幹事 市ヶ谷敦郎 (NHK), 久保田 彰 (中大), 井口和久 (NHK)  
委員 加藤嘉明 (三菱電機), 川田亮一 (KDDI), 坂東幸浩 (NTT-AT), 高橋桂太 (名大), 筒口 拳 (NTT), 内藤 整 (KDDI 研), 浜本隆之 (東京理科大), 藤井俊彰 (名大)

## 複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659